

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-CAR101
1	科目名 英語科目名	キャリアデザイン I Career Planning I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年前期 学生部長、勝谷信一郎*、西 雄一*
3	授業テーマ・内容	「キャリアデザイン」とは、自分自身の生き方や働き方を自主的かつ主体的に構想し、実現していくことをいう。大学生活において、自分の経験や能力を再認識して、自己の理解を深め、自身が望む将来像を描くと共に、社会で求められるコミュニケーション力や課題発見・解決力などの能力を養成することが重要である。この「キャリアデザイン I」では、本学での学生生活の目的や目標を明確にすることで、将来の職業世界への関心を深め、働くことの意義や職業世界の構造などについて知り、意欲的な人生設計への実現に向けた選択行動がとれるようになることを目的とする。
4	学習成果	学生自身が、本学での学生生活の目的や目標を明確化し、充実した学生生活を計画的に送ることができる。将来の自分自身のキャリアを考えた選択行動をとることができる。 学生参加型(ワーク重視)の授業を展開していくことで、社会人として必要なスキルである「書く」・「聞く」・「話す」力を身につけることができる。 社会人として求められる最低限の一般常識やマナーを身につけることができる。 自らの「将来像」を意識した学生生活を送ることができる。
5	履修条件	1年次生対象(社会人学生を除く)。 必ず毎回出席し、自主的に行動すること。
6	備考	担当教員(勝谷講師、西講師)はキャリアカウンセラーの資格を有し、他大学・企業等でキャリア指導・支援の経験を積み実践している。
7	テキスト・参考書	テキスト:「大学生の就活編」 補足レジュメを必要に応じて配付
8	課題のフィードバック	毎授業ごとに、前回内容についてフィードバックを行う。

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	オリエンテーション	「なりたい自分」をイメージすることの重要性を説明し、大学生活の過ごし方などについてレクチャーする。	予)シラバスを読み込んでおく(約2時間) 復)授業の振り返りを行う(約2時間)
第2週	キャリアデザインと人生設計	長寿社会、性別に捉われない職業選択、生涯賃金等、キャリアデザイン検定のためのベースを考察する。	予)人生設計について考察しておく(約2時間) 復)授業の振り返りを行う(約2時間)
第3週	自分について考える①	「なぜ、なんのために働くのか」という課題を検証し、人生の各ステージでの価値観の変化について考える。	予)これまでの人生を棚卸する(約2時間) 復)自分の強みは何か、再整理する(約2時間)
第4週	自分について考える②	相互インタビューという方法で自己理解を深める。自分史を作成し、自身のスタイル・価値観などを把握する。	予)授業で考えた自分の強みを、身近な人に伝える(約2時間) 復)自分の強みを、身近な人にきちんと伝える(約2時間)
第5週	仕事を知る①	多様な働き方とその帰結(正規・非正規社員の処遇の差異や転職の可能性等)について考察する。	予)仕事人インタビューを行ってくる(約2時間) 復)授業で習った業界についてさらに調べを深める(約2時間)
第6週	職場を知る①	自身のキャリアアンカーについて考察、多くの職業の中から自分の適職を探す方法について理解を深める。	予)仕事人インタビューを行ってくる(約2時間) 復)授業で習った業界についてさらに調べを深める(約2時間)
第7週	職場を知る②	自身の適職を探す準備の一環である、様々な業界、様々な職種を実際を探求する。	予)興味を持った企業について調査する(約2時間) 復)企業についての研究を深める(約2時間)
第8週	将来について考え、大学生活の目標をたてる①	今まで学んできたことを振り返り、これからの自分について考え、行動計画を構想する。	予)これまでの授業を振り返る(約2時間) 復)希望実現に向けた行動計画表作成の準備をする(約2時間)
第9週	将来について考え、大学生活の目標をたてる②	前週に引き続き、これまでの振り返り、これからの自分について考え、行動計画表に記入する。	予)これまでの授業を振り返る(約2時間) 復)希望の進路実現に向けた行動計画表を完成させる(約2時間)
第10週	コミュニケーション他①	日本語表現や数的処理、最低限の一般常識やマナーといったものを身につける。	予)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間) 復)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間)
第11週	コミュニケーション他②	日本語表現や数的処理、最低限の一般常識やマナーといったものを身につける。	予)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間) 復)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間)
第12週	コミュニケーション他③	日本語表現や数的処理、最低限の一般常識やマナーといったものを身につける。	予)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間) 復)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間)
第13週	コミュニケーション他④	日本語表現や数的処理、最低限の一般常識やマナーといったものを身につける。	予)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間) 復)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間)
第14週	コミュニケーション他⑤	日本語表現や数的処理、最低限の一般常識やマナーといったものを身につける。	予)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間) 復)プリントなどを用いて演習を実施する(約2時間)
第15週	まとめ	行動計画を継続するために、夏休みの過ごし方について具体的な計画を立てる。	予)行動計画表を時期ごとに詳細に考える(約2時間) 復)夏休みの行動計画を完成させる(約2時間)

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験		1-2 コミュニケーション・スキル 2-1 チームワーク、自己管理能力 2-3 市民としての社会的責任
筆記試験 レポート試験		
授業時間内 試験・演習		
授業時間外 レポート	50	
平常点	50	

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-CAR201
1	科目名 英語科目名	キャリアデザインⅡ Career Planning Ⅱ
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年後期 学生部長、勝谷信一郎*、西 雄一*
3	授業テーマ・内容	自分自身の今後のキャリアや自身が望む将来像を自らで描き、その実現に向けて行動をしていくためには、まずは現状の自分の経験や能力を再認識して、自己の理解を深めることが必要不可欠である。また、社会の中で生きていくには、他者との関わりを避けて通ることは不可能であり、他者に自分自身を理解してもらうには、自分自身や自らの考えを他者に正確に伝える能力が必要となる。この「キャリアデザインⅡ」では、将来の職業を念頭においたキャリア形成に重点を置くこととし、自分自身を深く理解するとともに、自らを他者に理解して貰える効果的な表現方法をより実践的な演習を通じて学ぶこととする。
4	学習成果	自分自身を客観的に見ることができる視点を養成するとともに、自身のこれまでの経験や現在有する能力などの再認識を行い、自己の理解を深めることができる。 より実践的な演習を通じて、現状自身に不足している力を知るとともに、「仕事＝社会で生きる」ことの本質を身をもって学ぶことができる。 自らを他者に理解して貰えるコミュニケーション能力も身につけることができる。 最終的には、自分自身の今後のキャリアについて、理論的に考えることができるようになり、自身のキャリアプランを作成して、実現に向けて行動することができる。
5	履修条件	1年次生対象(社会人学生を除く)。 キャリアデザインⅠに引き続き、履修することが望ましい。 必ず毎回出席し、自主的に行動すること。
6	備考	担当教員(勝谷講師、西講師)はキャリアカウンセラーの資格を有し、他大学・企業等でキャリア指導・支援の経験を積み実践している。
7	テキスト・参考書	テキスト:「大学生の就活編」 補足レジュメを必要に応じて配付
8	課題のフィードバック	毎授業ごとに、前回内容についてフィードバックを行う。

## 各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	オリエンテーション	講義の目的と主旨を説明する。なぜキャリアを考える必要があるか、コミュニケーションを取りながら考察する。	予) 自分のキャリアについて考えてくる(約2時間) 復) 1年後期で行う準備について再度整理する(約2時間)
第2週	社会理解を深める① (チーム活動)	社会・業界について、チームごとに役割を決め、研究活動を行う。	予) チームごとに、与えられたテーマについて調べ(約2時間) 復) 課題に出された業界研究を行う(約2時間)
第3週	社会理解を深める② (チーム活動)	チームの研究活動をまとめ、他者に伝えていく準備(プレゼンの準備)を行う。プレゼンのポイントを知る。	予) チームごとに発表準備を進める(約2時間) 復) チームごとに発表の準備を行う(約2時間)
第4週	プレゼンテーション	自分たちの研究をプレゼンすると同時に、他者のプレゼンを聞いて自分たちの発表を振り返る。	予) 発表に必要なものを準備しておく(約2時間) 復) 他者のプレゼンで印象的だったことをまとめる(約2時間)
第5週	キャリア形成の基準①	2～4回のチームでの活動を振り返り社会理解を深め、仕事選択の基準について検証していく。	予) 自分達のプレゼンについて、課題を考える(約2時間) 復) 社会理解についての考察を深める(約2時間)
第6週	キャリア形成の基準②	社会で求められる能力を理解し、業界・企業・職種などに対する「自分軸」を考える。	予) 就きたい職業に必要な力を考える(約2時間) 復) その力を理解し、何をすべきかを再度整理する(約2時間)
第7週	自身の強みを考える①	これまでの経験や体験の中から自分の強みを見つけ、自己PRの素材を書き出す。	予) 大学指定の履歴書の項目を理解する(約2時間) 復) 自己の分析・整理をする(約2時間)
第8週	自身の強みを考える②	自己PRなどの文章作成の基本、表現技法を学び、エントリーシートのベースとなる文章を作成する。	予) 学生時代に頑張ったことを振り返っておく(約2時間) 復) 自己PRを再度整理する(約2時間)
第9週	自身の強みを考える③	自己PR文章の推敲を繰り返して、限られた文字数の中で最大限の情報を届ける技法を学ぶ。	予) 文章の作成方法について整理する(約2時間) 復) 自己PRを完成させる(約2時間)
第10週	社会人としてのマナー	社会人としてのマナーやルールの重要性、就職活動における心構えを学ぶ。	予) 職場や就職活動に必要なマナーとは何かを考える(約2時間) 復) 授業で学んだ挨拶や敬語、心構えを復習する(約2時間)
第11週	自己表現力を磨く①	グループにおけるディスカッション(是非を問う討論)を実践する。	予) グループ内でのかかわり方を考える(約2時間) 復) 自身のかかわり方について考察する(約2時間)
第12週	自己表現力を磨く②	グループにおけるディスカッション(結論を導く討論)を実践する。	予) グループ内でのかかわり方を考える(約2時間) 復) 自身のかかわり方について考察する(約2時間)
第13週	自己表現力を磨く③	エントリーシートを題材に、自己を上手く表現する技法や考え方を学ぶ。	予) 作成済みの自己PRを検証する(約2時間) 復) 表現技法について復習する(約2時間)
第14週	自己表現力を磨く④	面接などを想定し、面接官に何を見られているかを理解する。	予) プレゼンや面接のポイントを考える(約2時間) 復) 面接で話す自己PRを再度作り直して人に話す(約2時間)
第15週	自己表現力を磨く⑤	前回行った面接のポイントをさらに深く理解し、自分に落とし込めるようにする。	予) 面接で話す内容を考える(約2時間) 復) 面接で話す志望動機を再度作り直して人に話す(約2時間)

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験		1-2 コミュニケーション・スキル 2-1 チームワーク、自己管理能力 2-3 市民としての社会的責任
授業時間内 試験・演習		
授業時間外 レポート	50	
平常点	50	

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-CAR102
1	科目名 英語科目名	企業研修 I Internship I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位)1年前期または1年後期の定められた期間 学生部長、学科長
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職に対する意識を高める。</li> <li>・成長のための課題を認識し、大学での学修の深化や将来のキャリア選択を促していく。</li> <li>・社会人としての一般常識、マナー、コミュニケーション力を身につける。</li> <li>・実務経験をとおして、実際の仕事や職場を知り、自己の職業適性や職業選択について考える契機とする。</li> <li>・就職活動の方向性と方法についての基礎的な理解を得るように努める。</li> <li>・就職後の職業生活に対する適応力を高めることができるようにする。</li> </ul>
4	学習成果	企業とはどんなところなのか。また、実務経験を伴う研修を通して学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につけ、今後の就職活動に対する意識を向上させる。なお、研修中は、研修先の社員・職員や、他の受講学生との協同作業を行うこともあり、研修先の社員・職員の働きぶりを見て、大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。
5	履修条件	対象学生は、日頃の学習態度等が良好なものより選考する。
6	備考	企業の実務経験者による指導を仰ぐ
7	テキスト・参考書	テキスト:プリントなど
8	課題のフィードバック	無し

## 授業内容

事前に企業の予備調査・研究を実施し、個々の動機づけを明確に位置づけ、目標設定を行えるよう十分な予習と検討を行う。また、「研修の心構え」など事前研修を行う。企業での研修期間は原則として1週間(7日間)とし、研修時間は企業の通常勤務時間とする。企業研修終了後、今後社会人となるためにやらなければならないこと、気づいたことなどの事後研修を実施しさらに就職に対する意識付けを行う。実施時期は、原則として、夏季休業期間または後期末試験終了後とする。なお、研修期間により企業研修Ⅱを併せて受講することができる。

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験 筆記試験 レポート試験		1-2 コミュニケーション・スキル 2-3 市民としての社会的責任
授業時間内 試験・演習		
授業時間外 レポート	40	
平常点	60	

## シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-CAR103
1	科目名 英語科目名	<b>企業研修Ⅱ Internship Ⅱ</b>
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	<b>(選択1単位) 1年前期または1年後期の定められた期間 学生部長、学科長</b>
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職に対する意識を高める。</li> <li>・成長のための課題を認識し、大学での学修の深化や将来のキャリア選択を促していく。</li> <li>・社会人としての一般常識、マナー、コミュニケーション力を身につける。</li> <li>・実務経験をとおして、実際の仕事や職場を知り、自己の職業適性や職業選択について考える契機とする。</li> <li>・就職活動の方向性と方法についての基礎的な理解を得るように努める。</li> <li>・就職後の職業生活に対する適応力を高めることができるようにする。</li> </ul>
4	学習成果	企業とはどんなところなのか。また、実務経験を伴う研修を通して学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につけ、今後の就職活動に対する意識を向上させる。なお、研修中は、研修先の社員・職員や、他の受講学生との協同作業を行うこともあり、研修先の社員・職員の働きぶりを見て、大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。
5	履修条件	派遣学生は、日頃の学習態度等が良好なものより選考する。
6	備考	企業の実務経験者による指導を仰ぐ
7	テキスト・参考書	テキスト:プリントなど
8	課題のフィードバック	無し

## 授業内容

<p>事前に企業の予備調査・研究を実施し、個々の動機づけを明確に位置づけ、目標設定を行えるよう十分な予習と検討を行う。また、「研修の心構え」など事前研修を行う。企業での研修期間は原則として1週間(7日間)とし、研修時間は企業の通常勤務時間とする。企業研修終了後、今後社会人となるためにやらなければならないこと、気づいたことなどの事後研修を実施しさらに就職に対する意識付けを行う。実施時期は、原則として、夏季休業期間または後期末試験終了後とする。なお、研修期間により企業研修Ⅰを併せて受講することができる。</p>
--

## 成績評価の方法

## 卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験 筆記試験 レポート試験		1-2 コミュニケーション・スキル 2-3 市民としての社会的責任
授業時間内 試験・演習		
授業時間外 レポート	40	
平常点	60	